

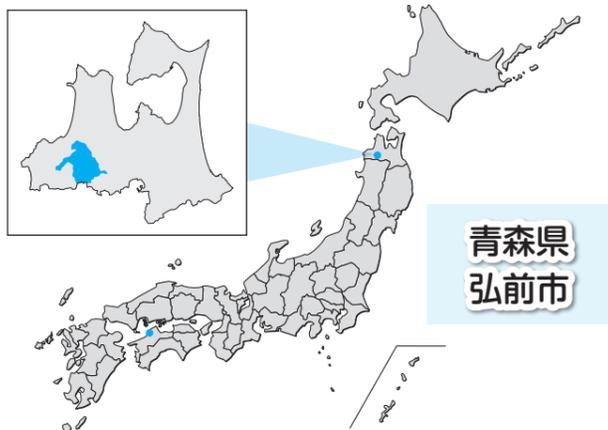


六郎兵衛
丹藤恵一郎 さん

私のふるさとの青森県弘前市は、日本海に面した津軽地方の中央部に位置し、冬は雪深く寒さの厳しい所です。また、リンゴの生産量が日本一で、津軽平野一面にリンゴ畑が広がっています。

ゴールデンウィークには、桜の名所として知られる弘前公園に、全国から多くの人々が訪れます。6～9月は町中の神社で宵宮が催され、毎日のように縁日の屋台が軒を連ねます。そして、夏は何と言っても「ねぶた祭り」。扇型の山車がお囃子と一緒に練り歩き、街がにぎやかになります。秋には、その美しさから津軽富士とも呼ばれる岩木山の神事・お山参詣などが行われ、全国的に見ても祭りがかなり多い地域だと思います。冬の厳しさを耐え忍んだエネルギーを、祭りで発散してきたのが津軽の人々なのかもしれません。

そんなふるさとの魅力を発信しようと、趣味で動画投稿をしています。須賀川に来て約2年、縁あって福島の魅力も発信しており、地元の方から応援をいただく機会も増えてきました。長沼にもねぶたがあると聞いて楽しみにしていましたが、コロナ禍で中止になりとても残念です。来年こそは福島のお祭りを紹介できることを願っています。



サークルとわたし



洒落会

代表者 小泉安司
 会員 14人
 発足年月 昭和60年4月
 連絡先 ☎090(1936)9249
 活動日 毎月第1土曜日
 午後1時30分～3時30分
 活動場所 東公民館

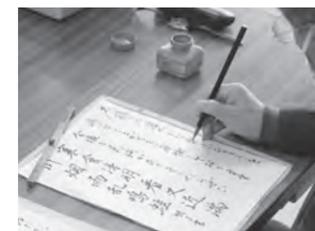
私たち「洒落会」は、結成から今年で36年になる書道のサークルです。

洒落会では、60代から80代までの会員が、岩瀬書芸連盟会長の杉岡暁雲先生の指導の下、「蔵鋒」という筆の使い方や大和仮名を学んでおり、会員それぞれが目標を持ちながら楽しく活動しています。

月に1回、杉岡先生から3枚の課題(七言二句、手紙文、詩文などの調和体)をいただき、次回活動日までに作品を仕上げ、先生の指導を受けています。

書は、心を無にして気持ちを集中させないと、なかなか上手に書けませんが、書に向き合うことは、充実した心落ち着く時間でもあります。

毎年2月末に、東公民館祭りで作品を展示していますので、機会があればぜひ見に来てみませんか。



tette 情報

tetteでは、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、講座などを行っています。参加する際は、感染防止にご協力をお願いします。なお、感染状況によっては、中止または延期になる可能性があります。詳しくは、tetteホームページでご確認ください。



tetteスクールなど

市民交流センター ☎(73)4407

tette絆イベント「佐藤玲奈さん作品展など」
 ▶作品展 12月18日(土)～26日(日) 午前9時～午後5時
 ▶トークショー、似顔絵、絵画教室を上記期間中に開催
 ※事前申込
 tetteスクールジュニア「ミステリーツアー『tetteマニア』」
 12月28日(火) ●午前10時～11時30分 ●午後2時30分～4時 ※事前申込

高校生合同文化祭(tette開館3周年記念イベント)
 令和4年1月8日(土)～10日(月・祝)

tette動画を配信中

生活に役立つ情報をはじめ、様々な動画をtette公式ホームページやInstagramで配信しています。ぜひご覧ください。



こどもセンターだより

こどもセンター ☎(76)6687

親子イベント「クリスマス飾りをつくろう」
 12月11日(土)～13日(月)に制作セットを配布
 ※事前申込(先着15組)
 子育て相談会
 12月16日(木) 午前10時30分～11時30分
 ※事前申込(先着2組)

図書館だより

中央図書館 ☎(75)3309

こども読み聞かせ会クリスマススペシャル(読み聞かせの会ポケット)
 12月11日(土) 午後2時 ※自由参加(定員20人)
 おひざにだっこのおはなし広場クリスマススペシャル(おはなしの会ラ・ポム)
 12月15日(水) 午前11時 ※自由参加(定員30人)
 こども読み聞かせ会(読み聞かせの会ポケット)
 令和4年1月8日(土) 午後2時
 ※自由参加(定員20人)

ふるさとの遺産

須賀川アルバム No.328
 -昭和の記録写真から-

芋煮会の風景 (昭和40年代)



野外で囲むと一際おいしい芋煮

写真は、大東小学校の芋煮会の風景です。全校児童が集まって、校庭のあちこちでグループごとに調理した鍋を囲み、出来る上がるのを待ちわびているようです。
 東北地方では、秋から冬にかけて芋煮がよく食べられており、芋煮会は秋の風物詩です。花見の時期に行うこともあり、芋煮の主役であるサトイモが収穫できる10月頃を中心に行われています。
 写真のように、今でも学校の課外授業の環境で芋煮会を行う所もあります。地域の行事や仲間同士で集まり楽しむ人もいます。
 芋煮会には、たくさんの方が集まって「食べる」楽しみだけではなく、地域や家庭で異なる味付けや具材で「作る」楽しみも詰まっています。
 博物館 ☎(75)3239